

2024年度

事業報告

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

公益財団法人 正力厚生会

〔がん患者支援事業〕 計 1 6 4 2 万 6 9 7 9 円（予算 1 7 2 0 万円）

＜患者団体への助成＞

全国のがん患者会や支援団体を対象に一般公募で活動資金を助成する事業で、25 団体に助成した。主宰者の体調悪化により一部事業が実施できなかった団体が一つあったが、残る 24 団体からはいずれも助成事業を実施したとする報告書が提出された。コロナ後の特徴として、オンラインを併用して広域からの参加を図る患者サロンやセミナーの開催が増えたほか、病気で脱毛に対するケア帽の制作・寄贈などアピアランスケアに関する活動も目立ち始めている。

（予算 7 7 0 万円、支出 7 6 5 万 0 1 8 9 円）

＜医療機関への助成＞

□「がん情報ギフト」事業継続の支援（230 万円）

「がん情報ギフト」は、国立がん研究センターが図書館へがん治療情報の冊子セットを寄贈し、地域の拠点病院とも連携を図って、図書館に正しいがん情報普及の窓口役を担ってもらう事業。一般からの寄付を基に始まったこの事業の発展強化を目指し、2019 年度から助成を行ってきた。

2024 年度はこの冊子セットの一部更新・補充や、図書館と病院や自治体の保健医療部門が連携した啓発イベントの開催などに 230 万円を助成した。冊子セットはすでに全国 700 館以上の図書館に寄贈されており、今年 3 月に長野県と岐阜県で、図書館と拠点病院の連携による講演やワークショップのイベントが行われた。

□がんの在宅療養支援プロジェクト（120 万円）

帝京大学医学部などによる「がんの在宅療養支援プロジェクト」に対しては、2015 年度制作の冊子「がん患者さんとお家族をつなぐ在宅療養ガイド」の増補改訂版発行（2024 年 5 月）の事業に助成した。在宅での「看取り」に重点を置いた旧版の内容に加えて、通院・経過観察中の在宅療養に関する情報を充実させた内容で、各地の拠点病院相談支援センターに 1 冊ずつ無料で贈呈された。

（予算 350 万円、支出 350 万円）

＜QOL（クオリティー・オブ・ライフ）向上への助成＞

□読響ハートフルコンサート

がん患者やその家族の心を癒すため、読売日本交響楽団員を全国各地のがん診療連携拠点病院に派遣し、弦楽四重奏などを披露する事業。一流オーケストラの楽団員による生演奏は、どこの会場でも大変喜ばれている。2024 年度は予定通り 8 会場で開催し、通算 100 回

目となった5月の都立小児総合医療センターでのコンサートは読売新聞多摩版・都民版共通で大きく掲載された。

(予算600万円、支出527万6790円)

地域	医療機関名	開催日
東京都	東京都立小児総合医療センター	5月13日(月)
岡山県	倉敷中央病院	6月4日(火)
鳥取県	鳥取大学医学部附属病院	7月5日(金)
富山県	富山大学附属病院	8月27日(火)
茨城県	総合病院土浦協同病院	9月17日(火)
静岡県	聖隷浜松病院	10月5日(土)
奈良県	市立奈良病院	11月1日(金)
北海道	札幌医科大学附属病院	11月18日(月)

以上

2024年度 がん患者団体助成 助成実績

() 内は所在地、金額は助成額

1. NPO 法人 パンキャンジャパン北海道支部（北海道）50万円

膵がん患者や医療者が掲げる歌詞カードの画像に合わせて、患者を勇気づけるオリジナル曲「希望の光」の歌を流す動画を作成。QRコードチラシを全国のがん診療病院に送付した。

2. パストラル・ハーブ ミニストリー（宮城県）20万円

ハーブと歌によるケアの米国人創設者らを招き、9月に養成講座を兼ねた講演を開催。のべ481人の終末期患者らを訪ね、11月には美術館で講演と演奏も開催、150人が参加した。

3. NPO 法人アンドブライツ（ひまわりスマイルプロジェクトから改称）

（宮城県）40万円

病児の描いた絵を貼ったキャンドルを点灯し、回復や冥福を祈るスカイランタン100基を上げるイベントを仙台市で開催。約400人が来場し、ボランティア70人が協力してくれた。

4. がん患者とその家族を支える会 ホッとサロンとめ（宮城県）20万円

11月に「わくわく健康フェア」を開催し、なんでも医療相談からビューティータッチセラピーなどを楽しんでもらいながら、ウィッグ貸し出しとその寄付募集などの活動周知を図った。

5. 桜月夜会（群馬県）20万円

11月に原町赤十字病院との共催で会代表が講師を務めるがん市民セミナーを開催、86人が参加した。このほか、リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの活動に参加するなどした。

6. Cowden 症候群当事者会ほっこり（千葉県）24万6465円

遺伝性腫瘍学会と遺伝看護学会で患者会ブースに出展。医師に病状を伝えるサーベイランス手帳の原案を作成・配布し、医療関係者や患者からのフィードバックを集めて編集を進めた。

7. NPO 法人 Ruban Rose（東京都）29万円

12月に墨田区で乳がんの早期発見・治療を啓発するイベントを初めて開催。29人が参加し、専門医やアロマトレーナーらの講演のほか、乳がんモデルの触診体験なども行った。

8. NPO 法人ホスピスケア研究会（東京都）22万円

「第71回がんを知って歩む会」を6月に開催し、10人が参加した。看護師主体の団体として、がんの情報提供とグループトークを交えたプログラムは参加者の好評を得られた。

9. NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク（東京都）50万円

7月にオンライン、9月にハイブリッドで患者交流イベントを開催。11月には秋田市で秋田県と共催のセミナーを開催し、治療と仕事の両立支援をテーマに講演会と座談会を行った。

10. 小児脳腫瘍の会（東京都）30万円

6月に大阪、10月に神奈川県で専門医を講師とする小児脳腫瘍の講演会をハイブリッド開催。後者は外出や交流の機会の少ない患児・家族のお泊り親睦会を兼ね、29人が参加した。

11. 一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク（東京都）30万円

11月に大阪国際がんセンターと「希少がんキャラバン 語り合おう！希少がん in 大阪」を共催。同センター総長らの講演と希少がん患者らのディスカッションなどを行った。

12. 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク（東京都）35万円

本団体の奨学金で学ぶ小児がん経験者の学生を対象に、8月に東京駅カンファランスセンターで就活や大人への移行期医療に関する勉強会を開催、10人の奨学生が参加した。

13. がんフォト＊がんストーリー（神奈川県）40万円

がん患者、家族、医療関係者の写真・動画とストーリーを公募、応募39作品などを基に72ページの写真集を制作し、11月に都内ギャラリーで3日間の展示イベントを開催した。

14. Tokyo OT Brain Tumor Network（神奈川県）48万8825円

当財団助成で2021年度に作成した『脳腫瘍サポートブック』に多くの病院から希望があったため、3500部増刷。全国185か所の脳腫瘍治療病院に送付したほか、電子書籍化もした。

15. 一般社団法人ピアリング（神奈川県）50万円

がん体験者のコミュニティリーダーを育成する研修動画・テキストを作成した。団体理事らが研修を受講して出演し、監修者からは団体外にも広く啓発すべき内容との評価を受けた。

16. 認定NPO法人がんとむきあう会（石川県）20万円

12月に同会拠点「元ちゃんハウス」8周年記念事業を開催。患者の生活を支える支援と連携をテーマに、全国がん患者団体連合会の天野慎介理事長夫妻の講演と意見交流会を行った。

17. NPO 法人がんフォーラム山梨（山梨県）50万円

がんサロン研修会を3回開催し、修了者らを軸に「すけっと」と名付けたがんサロンの毎月開催を実現。10月と12月には主催フォーラムの来場者を対象にサロン体験会も実施した。

18. がん・トーク会(岐阜) (岐阜県) 26万円

さいたま市で5月に開催された「日本がんサポーターズケア学会」発表に5人で参加。7月には岐阜市立中央図書館でトークイベントを開催するなどした。

19. 乳がん患者交流会 ソレイユ (京都府) 8万4899円

京大医学部附属病院の乳がん患者対象の個別相談と交流会を毎月、自由に話のしやすい院外で開催。ただし、秋に予定したセミナーは主催者体調不良のため翌年に延期した。

20. ウェル・リビングを考える会 (兵庫県) 20万円

街のカフェ営業店を会場に「まちなかカフェ・がん相談室」を毎月開催。8月は別会場で兵庫県立大講師によるがんゲノムに関する講義、12月には癒しのハーブ演奏会も開催した。

21. はまなすの会 (兵庫県) 30万円

月例のがん講演会に加え、6～8月に太子町と「がんサポーター養成講座」を共催。ケア帽の作製・無料提供も継続し、がん患者の集う「はまなすの家」は177日間オープンした。

22. 肺がん患者サロンなでしこ (香川県) 21万円

専門医らの講演に加え、「1年後の自分へ手紙を書こう」と題して、未来への希望や感謝の気持ちを文字に起こす患者交流イベントを開催。雨の中、20人以上が参加した。

23. NPO 法人がんのママをささえ隊ネットワーク ETERNAL BRIDGE

(福岡県) 50万円

シングル家庭で子育てとがん治療を両立する女性に向けて、その体験談と情報提供について3人からインタビューした動画を作成。3月にyoutubeなどで公開した。

24. 骨髄腫患者と家族の会福岡オリゾン (福岡県) 15万円

10月27日に福岡大学病院内のホールで「骨髄腫福岡セミナー2024～患者・家族・医療者のつどい」を開催。専門医、薬剤師の講演と、患者参加のディスカッションを行った。

25. 痔がん患者夫婦の会 (福岡県) 15万円

患者サロンを奇数月に福岡市内、偶数月にオンラインで開催し、5つのLINEオープンチャットを24時間対応で開設したほか、すい臓がん患者のメッセージ文集を1800冊配布した。